

はまみどりマット 海浜表土を活用した土塁の緑化事例

柏崎市松波海岸では、土塁建設予定地に在来種のハマゴウやハマヒルガオ、ハマニガナなどの海浜植物群落が存在していたため、工事の際は事前にその表土を取り置き、はまみどりマットの上に撒きだす手法で自然再生を図りました。（はまみどりマットの中には種子等はありません。）

施工から8ヶ月が経過し、写真のように土塁全体が緑に覆われ多数の海浜植物が再生しはじめています。

写真1 着手前



写真2 竣工 平成28年12月



写真3 緑化状況 平成29年8月末（施工8ヶ月後）



写真4 緑化状況近景 平成29年8月末（施工8ヶ月後）



コウボウムギ、ハマニガナ、ハマゴウ、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、ハマニンニク、ハマボウフウなど、多数の海浜植物が再生しはじめています。

発注者：新潟県長岡地域振興局農林振興部森林施設課

受注者：株式会社石塚組

施工者：グリーン産業株式会社